「慢性線維化性特発性間質性肺炎の適正な診断治療法開発のための調査研究」について

当院では，国立病院機構共同臨床研究として標記研究を実施しております。

1. 研究意義、目的

お体に負担のない診断法（手術ではない非侵襲的方法）で慢性線維化性特発性間質性肺炎(IIPs)と考えられる患者様｛特発性肺線維症（IPF）と特発性非特異性間質性肺炎（INSIP）疑い｝について、５年間の状態（予後）を比較し、非侵襲的な診断、治療、管理法が妥当であるか確認します。

2. 研究対象

当院に通院中もしくは以前受診した事があり、慢性線維化性 IIPs と診断された患者さん。既に亡くなられた患者さんも対象に含まれます。

3. 研究内容

臨床情報をカルテから調べて、誰だかわからない形で（匿名化）、胸部レントゲン、CT のデータと共に、中央のデータセンターに送付します（連結可能匿名化）。臨床情報は，全国の対象患者さんとともに解析されます。

4. 方法

亡くなられた患者さんで，代諾者の方から同意を受けることが難しい場合，保存されている資料を用いて研究を進めます。また、過去に呼吸器ネットワーク研究で既に登録された、外科的肺生検例で臨床画像病理診断による中央レビューを終了、予後の判明した患者様のデータを比較として用います。

5. 個人情報の取り扱い

個人情報、資料等（臨床情報や試料等）をすべて連結可能匿名化します。資料等を院外へ送付する場合は匿名化されたものだけを提供します。

この研究に関しご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。
また、この研究の対象となることをお断りになりたい方（ご本人ないし代諾者）も，下記へご連絡ください。

研究代表者　　井上　義一（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター長）
施設研究責任者　　佐藤　利雄（国立病院機構岡山医療センター院長）
問い合わせ先　　電話 086-294-9911